

三角関数

1600. 三角関数の最大値・最小値

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、

$$y = \cos^2 \theta + \sin \theta$$

の最大値と最小値を求めよ。

今回の学習目標

三角関数を含む最大値・最小値

- $\sin \theta, \cos \theta$ のいずれかを x に置き換える。

例 1

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

例 1

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

例 1

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x$$

例 1

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

例 1

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned}y &= x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4} \\&= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}\end{aligned}$$

例 1

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

$$= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$$

$$= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4}$$

例 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

$$= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$$

$$= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4}$$

頂点 $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{4})$ 、下に凸の 2 次関数

例 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

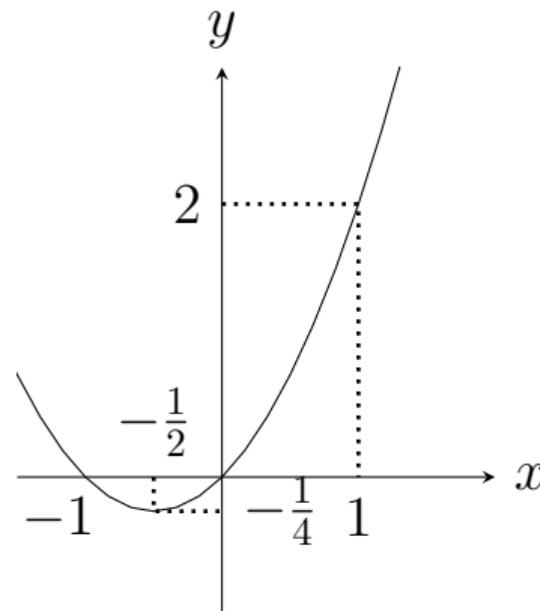
$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

$$= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$$

$$= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4}$$

頂点 $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{4})$ 、下に凸の 2 次関数



例 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

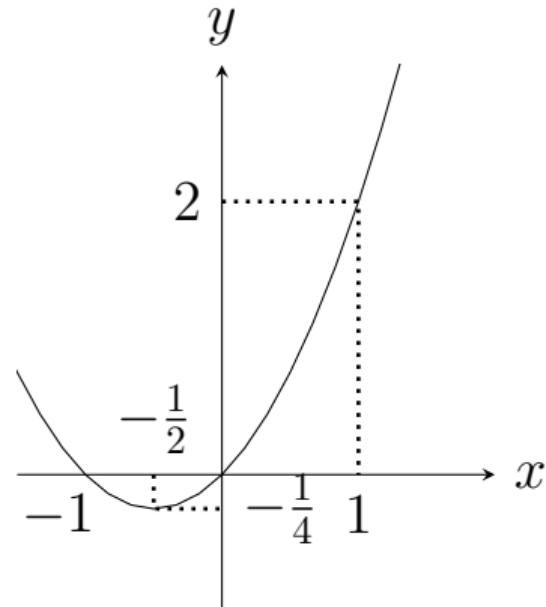
$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

$$= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$$

$$= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4}$$

頂点 $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{4})$ 、下に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、



例 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

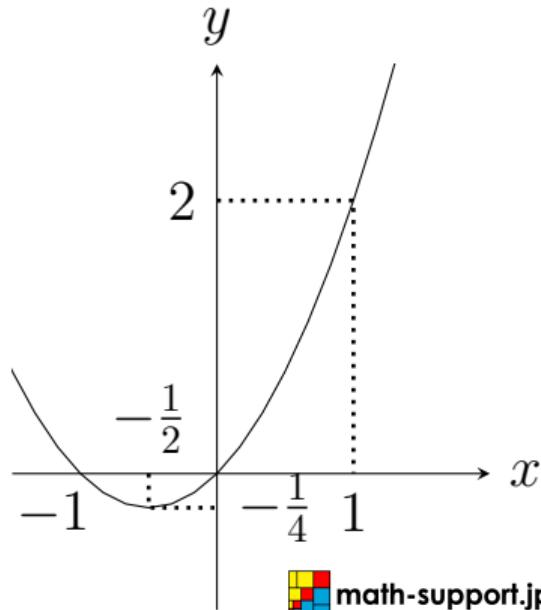
$$= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$$

$$= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4}$$

頂点 $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{4})$ 、下に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} のとき、最小値 -\frac{1}{4} \\ x = 1 のとき、最大値 2 \end{cases}$$



例 1

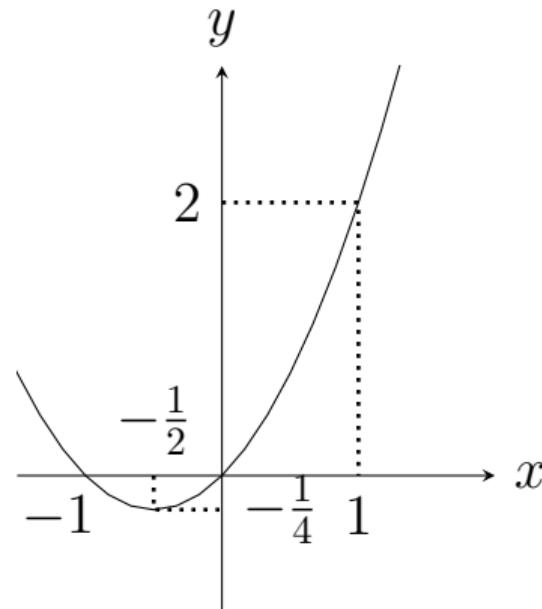
$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$

$$\sin \theta = -\frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$$



例 1

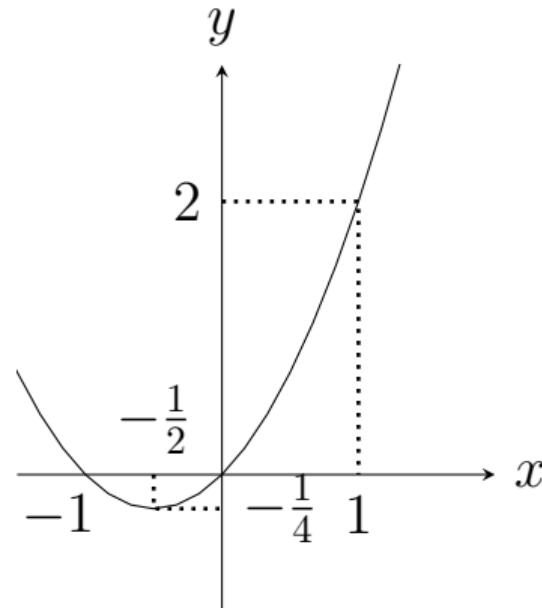
$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$

$$\begin{aligned} \sin \theta = -\frac{1}{2} &\rightarrow \theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi \\ \sin \theta = 1 &\rightarrow \theta = \frac{\pi}{2} \end{aligned}$$



例 1

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

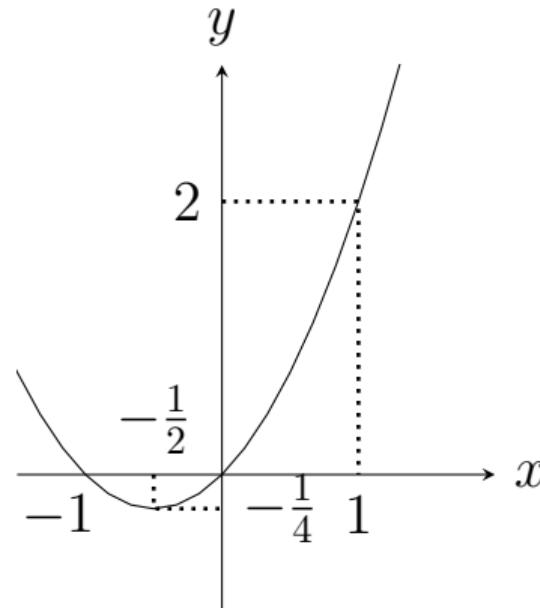
$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$

$$\sin \theta = -\frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$$

$$\sin \theta = 1 \rightarrow \theta = \frac{\pi}{2}$$

答 $\theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$ のとき、最小値 $-\frac{1}{4}$



例 1

$0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$x = \sin \theta$ と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

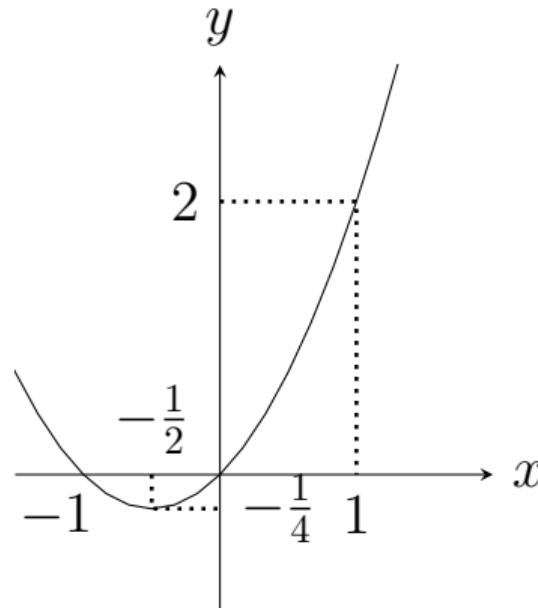
$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$

$$\sin \theta = -\frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$$

$$\sin \theta = 1 \rightarrow \theta = \frac{\pi}{2}$$

答 $\theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$ のとき、最小値 $-\frac{1}{4}$

$\theta = \frac{\pi}{2}$ のとき、最大値 2



ビデオを止めて問題を解いてみよう

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta \text{ だから}$$

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta \text{ だから}$$

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta \text{ だから}$$

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = -x^2 + x + 1$$

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned}y &= -x^2 + x + 1 \\&= -(x^2 - x) + 1\end{aligned}$$

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned}y &= -x^2 + x + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1\end{aligned}$$

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned}y &= -x^2 + x + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1\end{aligned}$$

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned}y &= -x^2 + x + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1 \\&= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}\end{aligned}$$

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned}y &= -x^2 + x + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1 \\&= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}\end{aligned}$$

頂点は $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

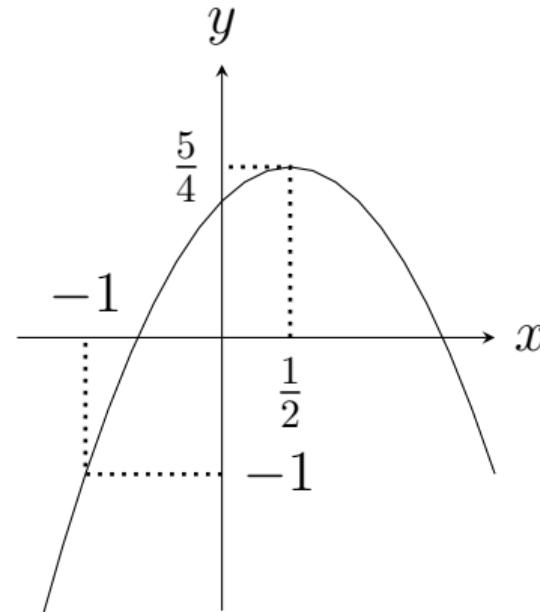
ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = -x^2 + x + 1$$

$$\begin{aligned} &= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1 \\ &= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1 \end{aligned}$$

$$= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}$$

頂点は $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数



問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

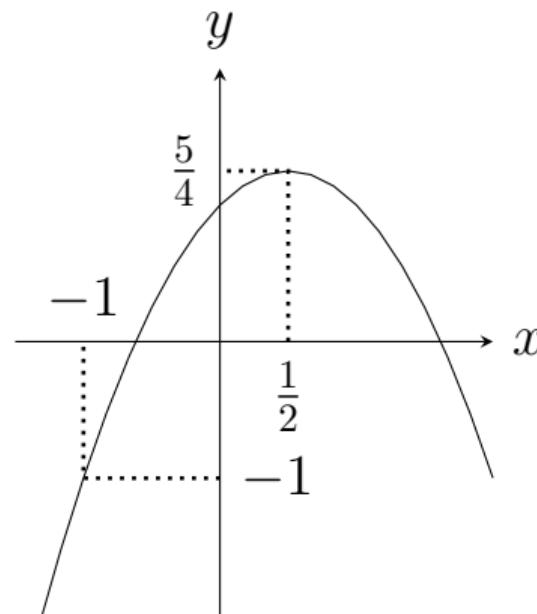
$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned}y &= -x^2 + x + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1 \\&= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}\end{aligned}$$

頂点は $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、



問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

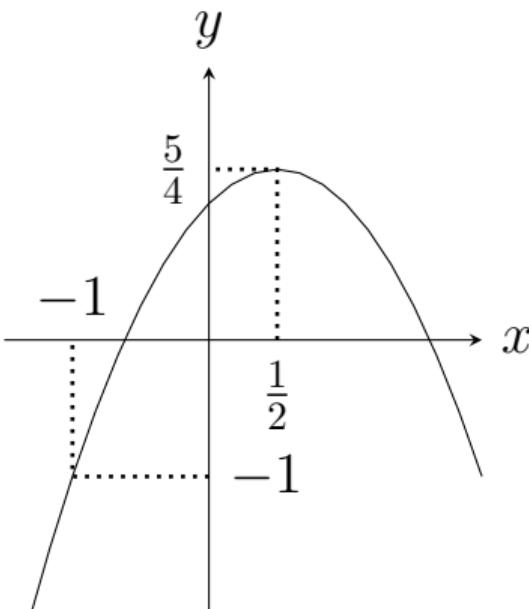
ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned}y &= -x^2 + x + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1 \\&= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1 \\&= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}\end{aligned}$$

頂点は $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} のとき、最大値 \frac{5}{4} \\ x = -1 のとき、最小値 -1 \end{cases}$$



問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

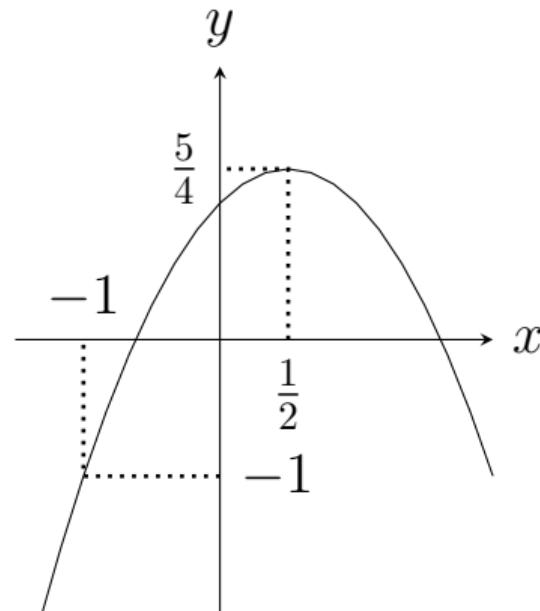
$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

頂点は $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} のとき、最大値 \frac{5}{4} \\ x = -1 のとき、最小値 -1 \end{cases}$$
$$\sin \theta = \frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$$



問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

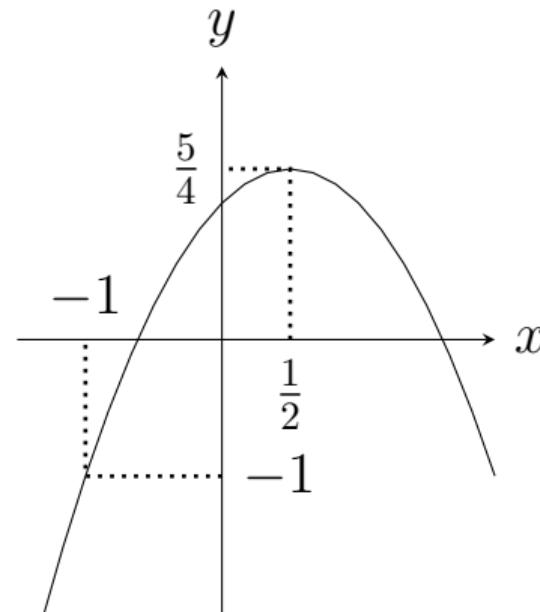
ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

頂点は $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} のとき、最大値 \frac{5}{4} \\ x = -1 のとき、最小値 -1 \end{cases}$$

$$\begin{aligned} \sin \theta = \frac{1}{2} &\rightarrow \theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi \\ \sin \theta = -1 &\rightarrow \theta = \frac{3}{2}\pi \end{aligned}$$



問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

頂点は $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

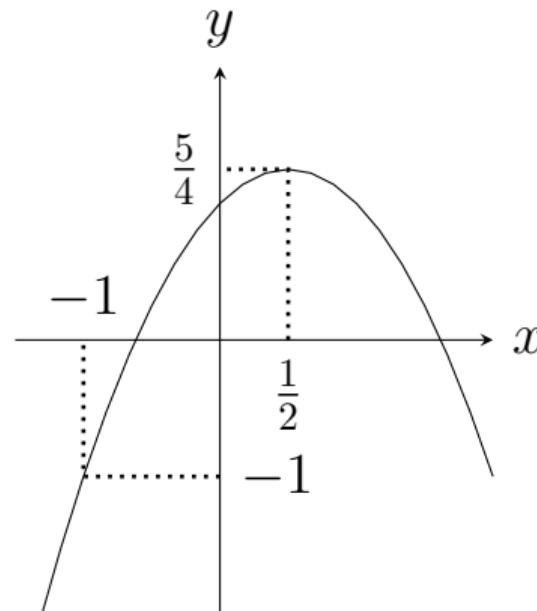
$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} のとき、最大値 \frac{5}{4} \\ x = -1 のとき、最小値 -1 \end{cases}$$

$$\sin \theta = \frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$$

$$\sin \theta = -1 \rightarrow \theta = \frac{3}{2}\pi$$

答 $\theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$ のとき、最大値 $\frac{5}{4}$



問 1 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$ の最大値と最小値、そのときの θ の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$ とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

頂点は $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の2次関数

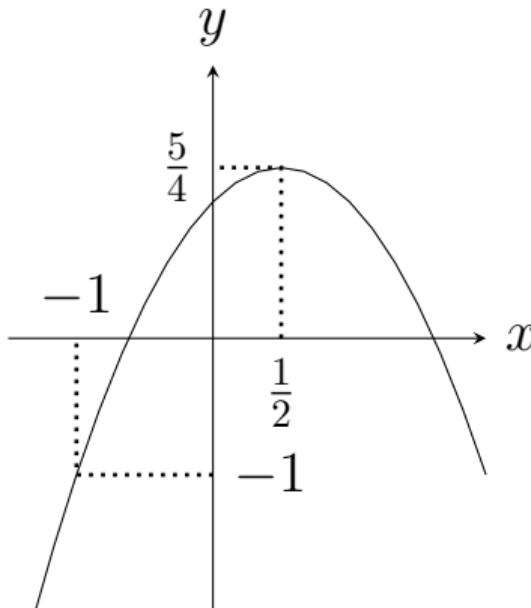
$-1 \leq x \leq 1$ の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} のとき、最大値 \frac{5}{4} \\ x = -1 のとき、最小値 -1 \end{cases}$$

$$\sin \theta = \frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$$

$$\sin \theta = -1 \rightarrow \theta = \frac{3}{2}\pi$$

答 $\theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$ のとき、最大値 $\frac{5}{4}$
 $\theta = \frac{3}{2}\pi$ のとき、最小値 -1



今回の学習目標

三角関数を含む最大値・最小値

- $\sin \theta, \cos \theta$ のいずれかを x に置き換える。